

あかしあ台小学校区まちづくり連絡協議会 第1回連絡会 議事録

1. 日時 平成30年9月23日 15:30～17:30

2. 場所 あかしあ台コミュニティハウス

3. 出席者

出席(順不同、敬称略):西田、藤野、高崎、酒井、谷渕、西中、内布、奥村、清水、河本、鶴野、前田、宮地、岡村、塩見、寺田、奥田、吉田、日笠、片岡(記)

欠席:岸本、渡邊、榎谷、達家、恒藤、長谷川、赤井、伊原

4. 報告事項

(1) 各構成団体の実施事業と今後の予定

- ・民生児童委員:月1 あかしあサロン約30人参加、隔月子育てサロン開催。
- ・青少年補導員:子どもの登校下校の指導。あかしあ台夜間パトロール、青パト。
- ・健康推進委員:健康講座(癒し)
- ・あかしあっ子:年間計画で活動、夏休み25回開催した。あかしあっ子広場に参加できない子供の居場所が課題となっている。
- ・ふれあい協議会:75歳以上枝豆狩りバスツアー、ウッディ・カルチャーふれあい健康ウォーキングなど。
- ・スポーツクラブ21:会員制クラブ、8団体、学校体育館、グランド使用。コブシの草刈り。
- ・体育振興会:4月あかしあウォーキング実施、ソフトボール大会とBBQ。夏祭り夜店、11月ウォーキング。運動会手伝い、どんと手伝い。草刈り6月と10月。実行委員会年数回開催。
- ・あかしあクラブ:社会奉仕(月1清掃、春秋2回花いっぱい運動、見守り)、教養(囲碁他)、健康増進(ハイキング、体操他)、友愛訪問年2回実施。
- ・ばら華会:踊りの練習、子供の参加が少なく今後の課題、興味を持つ人も減っている。絵手紙、小学校で展示。
- ・さぼっとクラブ:個人ボランティアの集まり。ニュース発行と配布、コミカフェイベントのとりまとめ実施、さくら植樹のボランティアなど。

(2) 市長とのホットトーク(8/19)

- ・自治会とまち協のあり方・・・市の基本案をもとに有識者を交えて来年秋を目途に詰める。
- ・市の助成金や交付金は包括交付金とし「まちづくり計画」を基に市が審査して配分することになる見込み。

(3) あかしあ台公園さくらの状況

2月に植えたさくら20本のうち9本が衰弱、森本庭園で養生中。秋に植え替え予定。以前に植えた分も調子が悪い。散水用ホース劣化し交換必要、草刈りで傷つけた可能性もある。犬の糞尿は樹木の生育に悪い影響を及ぼす。

(4) 夏祭り出店(8/25)

妖怪体操スマートボールゲームとアイスクャンディ販売を行った。ゲーム、アイスともに完売した。台風接近していたため大型冷凍庫のレンタルをキャンセルしアイス販売は当初予定よりも縮小した。

(5) いきいき体操の休止と参加費返金

猛暑のため8月は全休(7/31～9/4まで9回休み)。8月に数回にわたり電話で安否確認実施した。休会時の参加費(8月分200円)は下期会費徴収時に相殺する。

(6) 街区公園草刈り、点検清掃の実施状況

2回目の除草作業(5公園)を10月中に実施する予定。カンの木公園、自治会10/13(土)予定。
点検・清掃(年5回以上)はあかしあクラブに担当団体変更。クリーンデーに合わせて自治会が実施することになっていたが、クリーンデーが雨で3回中止になり年5回実施が難しくなった。あかしあクラブが定例の道路清掃作業にあわせて5公園を回り設備点検と清掃作業を行うことになった。

(7) ランチ・カフェの実施状況

配布資料に基づき直近3ヶ月のカフェ利用状況、イベント参加状況について説明。ランチは4月から「主婦シェフ」制になり従来の売上はなくなり、キッチン使用料をもらう形になった。

5. 討議事項

(1) 多世代交流ニュースポーツ(NS)大会

体振(今年担当)事業が多く手が回らない。メンバーの高齢化もあり実働部隊が減少。

役員会では今年開催は無理か、

内布: NSの発起人は内布、コンセプトはまち協として各団体のつながりをつくること、多世代交流を図ること、でスタートした。まち協として続ける意味はあるが各団体の状況を考えると秋の実施は中止もやむを得ないが、NSにこだわらず協力してやれないか? 既存事業には交付金が使えない? が、何らかの形で多世代交流イベントができないか?

谷淵: NS 道具の準備が大変だった。具体案はないが違った形でできればよいと思う。ひとつの団体だけではきついでいくつかの団体が共同でやればできる。

内布: 企画運営にはエネルギーがいる、謝礼を出してもいいのでは? アイデアがあれば提案してもらいたい。

西田: 民生の女性陣は手伝いを楽しみにしている面もあるが、子供対象の行事はPTAや学校の協力もいる自治会やPTA他の団体の協力体制が必要。

敬老会と芋煮会セット案、硬い枠組みはしんどい、とんど+餅つき(トン汁)を多世代交流?

2日前3日前から準備するのは大変。

1 団体に任せるのではなく他の団体の協力があればできる。

奥田: 団体の役員はどれも負荷が大きい。自治会は実働部隊にボランティアを募集。

まち協として横のつながりができているか?

現段階では従来の形のNSは実施困難、冬以降何かできるか?

(2) まちづくり計画

市の意向としてまちづくり計画が交付金配付の基準となる。

① 子どもの居場所

子どもの居場所がない(少ない)、まちづくり計画に落とし込んでいきたい。

子どもだけでなく高齢者の居場所も考えたい。

酒井: あかしあっ子、夏休み学校開放週2回が1回のみになった。児童クラブ5時まで、5時以降親が帰ってくるまでの居場所。

場所としてコミュニティハウスがある、5時以降使う。

西田: 三田街中には5時以降預かる施設がある、ウッディにはない。有償ボランティアで何かできないか?

清水: 責任者がいる、責任者になるとなると...

西中: PTA:では具体的なニーズは把握していない。

岡村: 市内では給食費や学費が払えない子どもがいるが表には出てきにくい。

② 地域自主防災への取り組み

自治会に自主防災組織があるが平日の昼間には対応難しい。常時機能する自主防災組織が必要?

安否確認は班長、ただし不在時の対応は不明。とりまとめは対策本部。各団体に声をかけてまち協として自主防災のしくみをつくる。

清水: 大災害の場合は自分の身を守ることで手一杯。何かでるのは時間がたってから。

各団体で動ける人を自主防災メンバーとして推薦してもらえないか。誰かがやるだろうではダメ。

民生委員は必須、民生以外で各丁目数名要る?

(3) 「公共交通」について

高齢者が増え公共交通の維持が困難になりつつある。小柿地区ではコミュニティバスを運行している。

神姫バスは赤字路線をすぐに廃止する。

奥村: あかしあ台は小西屋で助かっているが、過当競争でいつまで続くか?

西田: 小西屋は母体が規模は小さいが安定している。

福祉会館や郷の音にいく便がない、どれだけニーズがあるか?

谷淵:介護タクシーニーズが少ない。

営利事業としては成り立たない、福祉事業として補助金等がないと成り立たない。

市がNT内の循環バスを運行してもらえないか? 9-17時

(4)その他

けやき台自治会主催の防災講演会「正しく恐れて 正しく備える」9/30開催、参加依頼。

清水:訓練はするが実際には役に立たないケースが多い。

奥田:自治会クリーンデー3回中止になった。来年からは市が代替日を設定する予定。

代替日の設定はできるがクリーンデー当日以外はゴミステーションを使うことになりややこしい。

(5)各専門部会の活動について(活動報告等)

なし(時間切れ)

6. 次回日程

第2回連絡会 12月15日(土) 15:30~

以上